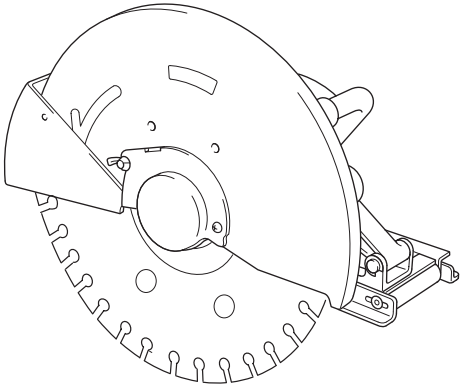
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

405mm ALC用カッタ

モデル 4116



本製品はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは405mm ALC用カッタをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目次

- 主要機能 ---------- 3
- 安全上のご注意 ---------- 4
- カッタ安全上のご注意 ---------- 10
- 各部の名称および標準付属品 ---------- 13
- 別販売品のご紹介 ---------- 14
- 使い方 ---------- 15
  - ガイドプレートの固定 ---------- 15
  - ダイヤモンドホイールの取り付け・取りはずし方 ---------- 15
  - 切り込み深さの調整 ---------- 17
  - スイッチの操作 ---------- 17
  - オーバーカレントリレー（モータ保護機構）について ---------- 17
  - 切断方法 ---------- 18
- 別販売品の使い方 ---------- 20
  - 集じん作業をする場合 ---------- 20
- 保守・点検について ---------- 21
  - カーボンブラシの交換 ---------- 21
  - 本製品のお手入れ ---------- 21
  - ご修理の際は ---------- 21

主要機能

モデル / 主要機能	4116	
電動機	直巻整流子電動機	
電圧	単相交流 100 V	単相交流 200 V
電流	15 A	7.5 A
周波数	50-60 Hz	
消費電力	1,430 W	
回転数	2,300 min^{-1}（回転 / 分）	
使用できる ダイヤモンドホイール寸法	外径φ 405 mm ×厚さ 2.3 mm ×内径φ 25.4 mm	
使用できる 切断砥石寸法	外径φ 405 mm ×厚さ 4.5 mm ×内径φ 25.4 mm	
最大切り込み深さ	125 mm	
本製品寸法	長さ 550 mm ×幅 270 mm ×高さ 270 mm	
質量	15.5 kg	

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

安全上のご注意

JPA001-35

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
・ 発火や爆発の原因になります。
7. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3. 不意な始動は避けてください。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。

4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 本製品の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
- 保管、または修理
- 電動工具から離れるとき
- その他危険が予想される作業

4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。

5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

10. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
- 理解せずに使用することは危険です。

11. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
- けがの原因になります。

12. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

  ＜異常・故障例＞
  - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  - 電源コードに深いキズや変形がある。
  - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- 感電の恐れがあります。

⚠警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～5 A	5～10 A	10～15 A
2.0 mm^2	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

カッタ安全上のご注意

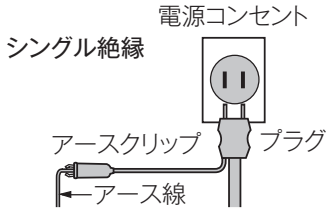
JPB126-3

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、カッタとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

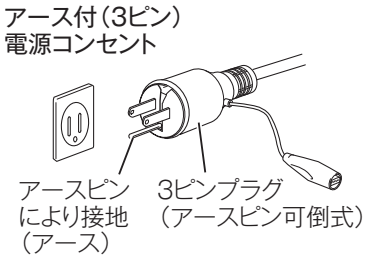
⚠ 警告

1. 必ず接地（アース）してください。

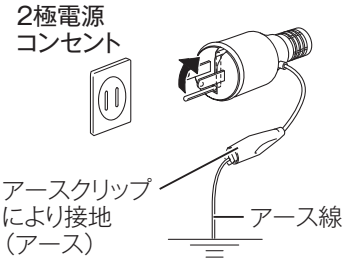
- 故障や漏電の時、感電する原因になります。
- 接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
- 3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。



- アース付（3ピン）電源コンセントの場合3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください（アースクリップによる接地（アース）は不要）。



- 2極電源コンセントの場合
  アースクリップをアース線に接続してください。
- アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
- テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アースピンと機械本体の金属（外郭部）間の導通を確認してください。



- アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談してください。
- 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されますことをお奨めします。
- 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。
  ※労働安全衛生規則　　第333条・第334条
  　電気設備の技術基準　第18条・第28条・第41条

2. アース線をガス管に接続しないでください。

- 爆発の恐れがあります。

⚠警告

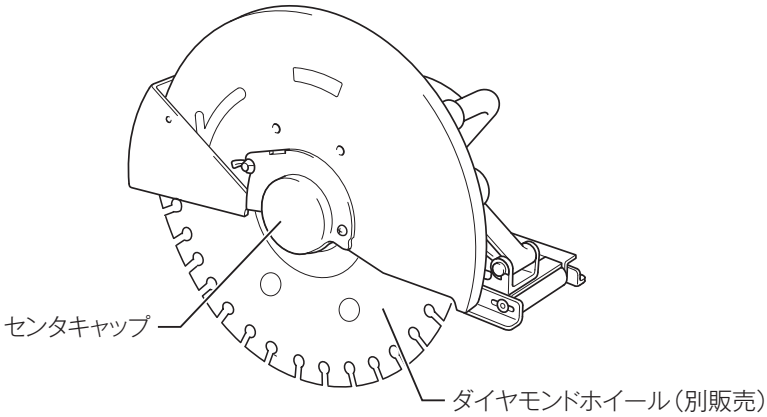
3. つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた３芯コードを使用してください。
・ アース線のない２芯コードですと、感電の原因になります。
4. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
5. ホイールカバーは、必ず取り付けて使用してください。
・ 砥石やダイヤモンドホイールが破壊したときなど、けがの原因になります。
6. 安全カバーは絶対に固定したり取りはずしたりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
・ ノコ刃が露出したままですとけがの原因になります。
7. 切断砥石を使用する場合は、最高使用周速度 80 m/s（4,800 m/min）以上の正規の砥石を取り付け、正しい使用面で切断してください。側面を使用しないでください。
・ 正規以外の砥石を使用したり、また側面を使用すると、砥石が破壊し、けがの原因になります。
8. ダイヤモンドホイールや砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
・ 異常があると、ダイヤモンドホイールや砥石が破壊し、けがの原因になります。
9. 使用中は、本体を確実に保持してください。特に始動時は気をつけてください。
・ 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
10. 水、研削液などは使用しないでください。
・ 乾式用のため、砥石の破壊によるけがや感電の恐れがあります。
11. ジグザグ切断、曲面切り、（ガイドを使わない）斜め切り、コジリ、側面使用は絶対にしないでください。
・ これらの使用方法ではホイールや砥石が破損し、大けがの原因になります。
12. 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
・ けがの原因になります。
13. 切断砥石を使用する場合、研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは、安全な場所に遠ざけてください。また、切断火花を直接手足などに当てないようにしてください。
・ 火災や、やけどの原因になります。
14. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
15. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ダイヤモンドホイール、切断砥石）や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
16. 〔事業者の方へ〕砥石の取り替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

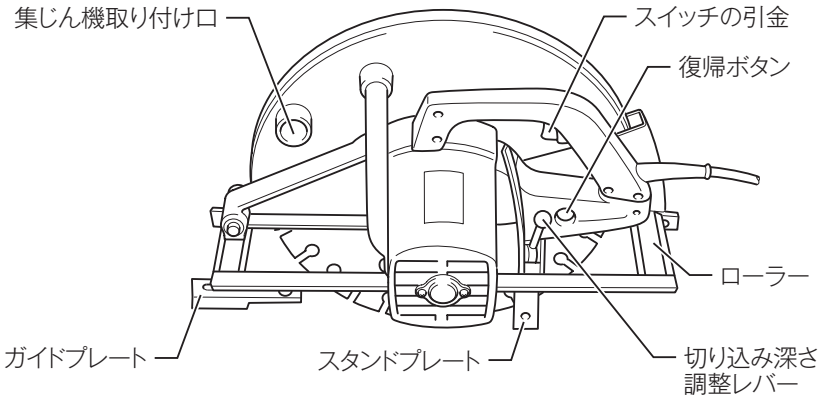
関連法令	労働安全衛生規則	第 36 条
	労働安全特別教育規程	第１条、第２条

⚠ 注意

1. 工具類（ダイヤモンドホイール、切断砥石）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実に取り付けないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 新しい砥石を取り付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください。
・ 砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
3. 試運転を励行してください。
・ 試運転時間は｛砥石交換のとき　３分間以上／その日の作業始めのとき　１分間以上｝です。
・ 試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。
4. 高所作業のときは､下に人がいないことをよく確かめてください｡また､コードを引っかけたりしないでください。
・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 指定以外の刃物（丸ノコ刃、チップソーなど）での切断作業はしないでください。
・ 丸ノコとしての保護装置がなく、けがの原因になります。
6. 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
・ 不意の接触などで、けがの原因になります。
7. 切断砥石は、水分や湿気のない乾燥した場所に保管してください。
・ 水分や湿気によって強度が低下し、砥石破壊の原因になります。
8. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
・ けがの原因になります。

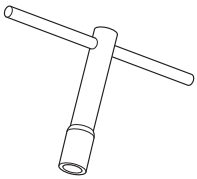
各部の名称および標準付属品





標準付属品

・ ボックスレンチ 17

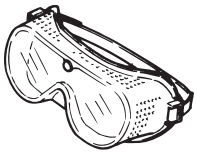


別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

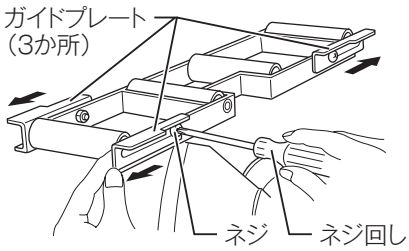
・ ダイヤモンドホイール（ALC 専用）
φ 355 mm（乾式）
部品番号：A-09466
φ 405 mm（乾式）
部品番号：A-09357

・ セフティゴーグル（保護メガネ）



ガイドプレートの固定

・ ガイドプレートを引っこめて出荷しています。
ネジ回しでガイドプレート固定用のナベ小ネジをゆるめ、ガイドプレートをいっぱいまで引き出して、ネジを締め付けてください。



ダイヤモンドホイールの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ダイヤモンドホイールの取り付け、取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、事故の原因になります。

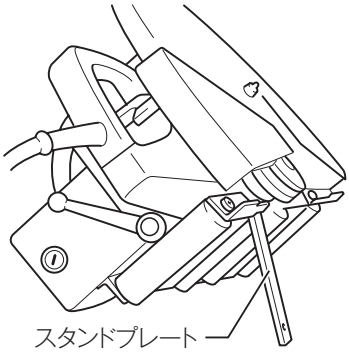
⚠ 注意

ダイヤモンドホイールを取り付けるときは、本製品に付いている矢印とダイヤモンドホイールに付いている矢印の方向を合わせてください。
・ 矢印に合わせないと、回転方向に対しダイヤモンドホイールが逆向きとなり、刃先を傷めたり、けがの原因になります。

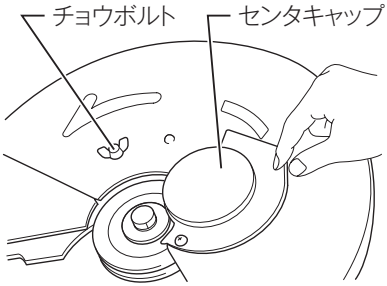
ダイヤモンドホイールの着脱は付属のボックスレンチ以外の工具は使わないでください。
・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

取り付け方

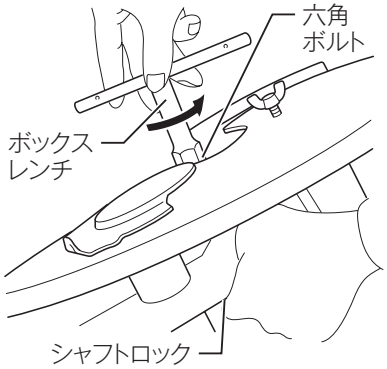
・ ダイヤモンドホイールを取り付けやすいようにベースを下げ、スタンドプレートを使って本製品を平坦な面に置いてください。



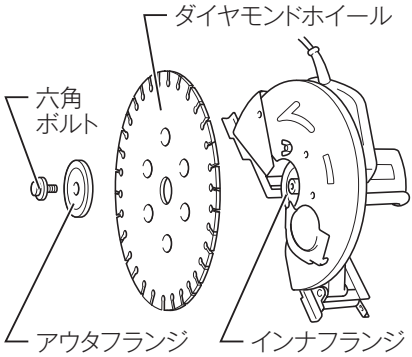
・ センタキャップを固定しているチョウボルトをゆるめ、センタキャップを開いてください。



・ シャフトロックを押し込み、ノコ軸の回り止めをし、ボックスレンチ 17 を六角ボルトにはめ込み、左に回してはずしてください。



・ ノコ軸にダイヤモンドホイール→アウタフランジ→六角ボルトの順に取り付け、ボックスレンチ 17 を右方向に回して、六角ボルトをしっかりと締め付けてください。
・ センタキャップをチョウボルトでしっかりと固定してください。



注

・ **インナフランジとリングは取りはずさないでください。**

取りはずし方

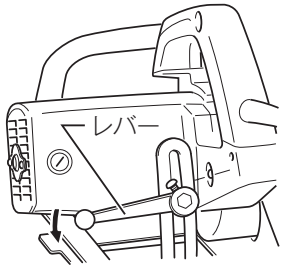
・ 取り付け方の逆の要領で行ってください。

切り込み深さの調整

⚠ 警告

切り込み深さ調整後は必ずレバーをしっかり締め付けてください。
・ 締め付けが不十分なままご使用になりますと、けがの原因になります。

・ 切り込み深さ調整用のレバーをゆるめ、お望みの深さにベースを上げ下げして調整してください。調整後は、レバーをしっかり締め付けてください。



注

・ **材料が薄いときは、切り込み深さを浅くしてお使いください。**

スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

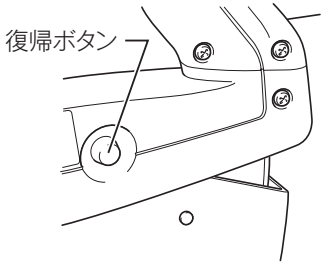
・ スイッチは引金を引くと入り、放すと切れます。

オーバーカレントリレー（モータ保護機構）について

⚠ 警告

復帰ボタンを押す前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
・ スイッチを入れたまま復帰ボタンを押すと急に動きだし、事故の原因になります。

・ 過負荷状態になりますと、オーバーカレントリレーが作動し自動的に停止します。
その際にはスイッチの引金を放し、本製品を材料より離して、約 1 分後に復帰ボタンを押しますと再び使用できます。



切断方法

⚠ 警告

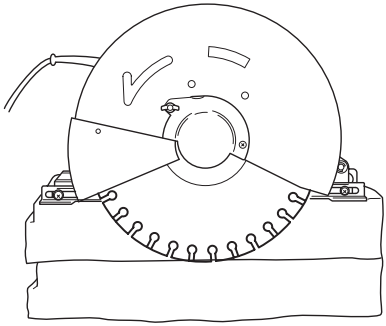
切断中に本製品をこじたり強く押し過ぎたりしないでください。
・ モータに無理がかかるばかりでなく本製品自体に強い反発力を生じ、けがの原因になります。

ダイヤモンドホイールにヒビ割れなどの異常がないことを確認してください。
・ 異常があると、ダイヤモンドホイールが破壊し、けがの原因になります。

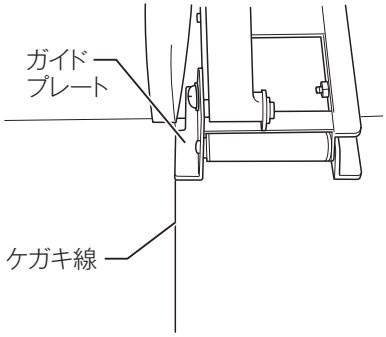
⚠ 注意

使用後はスイッチを切って、ダイヤモンドホイールの回転が完全に止まってから本製品を置いてください。
・ 回転が止まらないうちに置くことは危険です。また、切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがありますのでご注意ください。

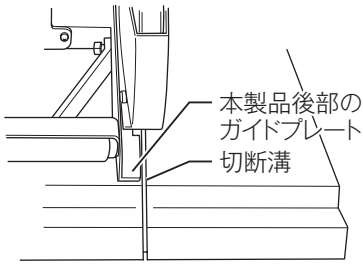
・ 材料の上に本製品を置き、切り込み深さを材料にあった深さに調整してください。



・ 両手で本製品をしっかり保持し、ガイドプレートとケガキ線に合わせてください。
・ ダイヤモンドホイールが材料に触れない状態でスイッチを入れ、回転が完全に上昇し安定したら、そのまま静かに前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。



・ 切断中、本製品後部のガイドプレートと切断溝があっていることを確認してください。

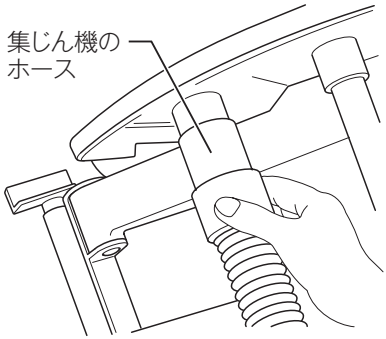


注

・ 一回の切り込み量は 125 mm 以下にして、モータの回転が落ちないように押す力を加減してご使用ください。本製品を無理に押すと過負荷となり、モータ焼損の原因になります。
・ 125 mm をこえる切り込み深さの時は、2 回以上にわけて切り込んでください。
・ ダイヤモンドホイールの切れ味が悪くなったときは、コンクリートブロックや使用済みの WA 砥石など組織の粗い材料を切断し、ドレッシング（目出し）をしてください。

集じん作業をする場合

・ 切断作業をする際、当社集じん機を使用すれば、粉じんが飛び散らず清潔な作業ができます。



・ モータ内部にごみやほこりがたまりますと、故障の原因になります。使用後に本製品を空転させて、モータ内部に風を送ると、内部のごみやほこりの排出に効果があります。

保守・点検について

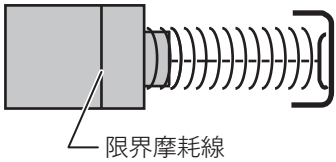
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

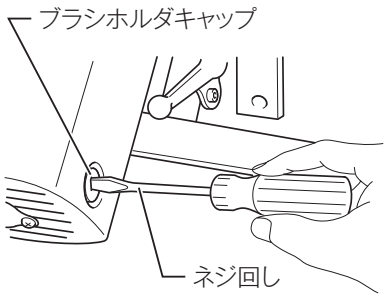
・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、事故の原因になります。

カーボンブラシの交換

・ カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。
カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。



・ ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
カーボンブラシは２個で１組になっております。取り替える場合は、必ず左右とも同時に行ってください。



本製品のお手入れ

・ 乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布できれいに拭いてください。

注

・ **ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

メモ

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881387H7
IWT